

# 腎臓病 糖尿病

合併症・高血圧  
脳梗塞・心筋梗塞

薬に頼らず

# 自分で治す

医師・医学博士 武内徹郎

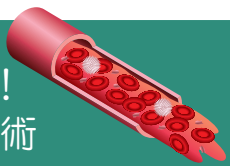
血液をキレイにすれば病気は治る!

名医が  
教える

## 毒出し 血液浄化術

血液・血管が若返る! 免疫力もアップ!





毒出し!!  
血液浄化術

# 血液が一気に20代に若返った! 「わかなたつみの発酵菌」で腎機能値が改善 腎臓病との60年の悪縁が切れた!!

「わかなたつみの発酵菌」・腎臓病改善体験談①

神奈川県在住 鈴木実子さん(80歳)

## 20代で糖尿病性の 腎臓病を発症……

今から60年前、交通事  
故で脊髄神経失調症にな  
り、健康的な血液がづく  
れない体になりました。  
その3年後、今度は糖尿  
病性腎症に。舅と姑から  
受けたストレスのせいで  
血糖値が250に上昇。  
腎臓にも不調が及んでし  
まったのです。  
高血糖と腎機能低下の  
ダブルパンチで、甘いも

のや脂っこいものを食べ  
ると、てきめん手足が  
むくんでしまいます。関  
節までもがパンパンに腫  
れあがって、ときには歩  
行困難になることもあり  
ました。便通は滞るばか  
りで、肌がどす黒くくす  
み、さらにはB型肝炎ま  
で発症したのです。  
医師からは何度も人工  
透析をすすめられました。  
しかし、どうしてもイヤ  
で断固拒否をし続けたの  
です。とはいえ、体調の

悪さを放っておくわけに  
もいきません。食事制限  
をしたり、1日に3〜4  
回も足湯をしたり、健康  
器具やサプリメントにも  
頼りました。でも、どれ  
も効果が実感できません  
でした。  
**血液がぐんぐん  
若返った!**  
何をしても改善しない  
腎機能や体調、血糖値に  
悩んでいたとき、とある  
健康雑誌で「わかなたつみ

の発酵菌」を知りました。  
他の酵素とは比較になら  
ないほど高い活性力を持  
ち、血液浄化を強力に促  
してくれるとのこと。「こ  
れは間違いない」と直感  
し、すぐに注文したので  
す。  
「わかなたつみの発酵菌」  
を飲んで真っ先が変わっ  
たのが、便の状態です。  
真っ黒な便が日に何度も  
出て「体に溜まった悪い  
ものが全部出た」と感じ  
ました。日ごとに体が軽

### 鈴木さんの改善データ

血糖値	250 → 112 mg/dℓ
ヘモグロビンA <sub>1c</sub>	10.5 → 6.4%
クレアチニン値	4.8 → 0.6 mg/dℓ

●基準値：クレアチニン値0.4~0.8mg/dℓ (女性)、血糖値110mg/dℓ未満、ヘモグロビンA<sub>1c</sub> 4.6~6.2%

※個人の感想であり、実感を保証するものではありません。

現在



腎機能値が改善し、人工透析の不安がなくなった鈴木さん。このほか血糖値や肝機能値もすべて低下！ 血液や肌もぐんと若返った

くなり、ひどかったむくみも解消。関節もスムーズに動くようになりました。気づけば肌つやもよくなり、「肌が白くてきれい」と友人からほめられるようになっていました。腎機能の指標となるクレアチニン値、血糖値やヘモグロビン $A_{1c}$ もすべて大改善！ さらに飲用1カ月後の検査では、医師から「血液が若々しく20代並みにきれいになってる」とびつくりされたのです。

「わかなつみの発酵菌」のおかげで、人工透析の不安はすっかり解消しました。60年に及ぶ腎臓病との悪縁が切れ、心も体も元気いっぱいです。



医学博士・武内先生のコメント

## 血液浄化は腎機能改善に有効

糸球体の極小血管を血液浄化で健やかに

糖尿病性腎症は人工透析導入理由の1位です。過剰な糖という血液の

毒は、腎臓機能に多大な

悪影響を及ぼします。腎

機能を支える糸球体は、

糸のように細い血管がか

らまってきており、腎

機能の低下⇨糸球体の損

傷・減少を示します。毒

まみれの血液は、やすやすと極小血管へダメージ

を与え、糸球体を損傷・

減少させます。しかも、

減少した糸球体が、もと

に戻ることはないのです。

鈴木さんの腎臓も過剰

な糖で汚れた血液によって機能が低下。回復がむ

ずかしいことから、人工

透析の導入が強くすすめられたのだと思います。

「わかなつみの発酵菌」

は、血液の浄化を推し進

めることで、糸球体の負

担を軽減。さらに血液の

質を向上することで血管

の若返りが実現します。

減少した糸球体の数が

戻ることはなくても、現

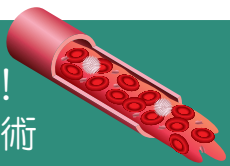
存している糸球体ひとつ

ひとつの働きが向上すれ

ば、腎臓全体の機能は改

善。クレアチニン値の低

下も望めるのです。



毒出し!!  
血液浄化術

# 糖尿病のドロドロ血液が目や腎臓を ことごとく損傷！人工透析に至った 私を救ってくれた「わかなたつみの発酵菌」

「わかなたつみの発酵菌」・腎臓病改善体験談②

—山梨在住 高木信二さん(52歳)

## 即入院し人工透析を 受ける事態に!!

今から思えば、私は自分を過信していたようです。まさか自分がひどい糖尿病になり、そのせいで人工透析に至るとは…。30代のころから、健診のために血糖値や血圧が高めだといわれ、食生活の改善に取り組みました。しかし、その内容は日に10種もの栄養素のサプリメントを摂るといっておそ

まつなもの。でも、当時の私は「これで万全」と考え、ずっとそんな食生活を送っていたんです。

知らぬ間に私の体は弱っていったようです。2019年の年末に風邪をひいてから体の不調が目立ってきました。食欲もなく、日々のわずかな疲れがどんどん蓄積。階段で息苦しきを感じたり、足がつかうことがしょっちゅうありました。

突然左目にモヤがかかり、見えなくなってしまったのです。あわてて眼科へ行きましたが対処しきれず、すぐさま大病院へ。診断結果は「硝子体出血」。しかも、腎機能値が非常に悪くなっていることまで発覚しました。正常値は1・2mg/dl以下とされるクレアチニン値が13・4、尿素窒素量が128もあり、即日入院して人工透析を受けることになってしまったの

です。高血糖や高血圧を真摯に改善せず、血液が毒で汚れるままにした報いが、ことごとく腎臓と目にあらわれたのでした。また、腎機能が低下したせいで血液中の水分量が増加。血液量が多くなった影響で心臓の肥大化も起こっていたそうです。

## クレアチニン値が 低下、不調も解消

「わかなたつみの発酵菌」を飲み始めたのは202

●基準値：クレアチニン値0.6～1.1mg/dl (男性)、尿素窒素8～21mg/dl

※個人の感想であり、実感を保証するものではありません。

高木さんの改善データ	
クレアチニン値	13.4 → 10.8 mg/dl
尿素窒素	128 → 55 mg/dl
尿酸値	10.4 → 5.5 mg/dl

## ● 「毒出し血液浄化術」

現在



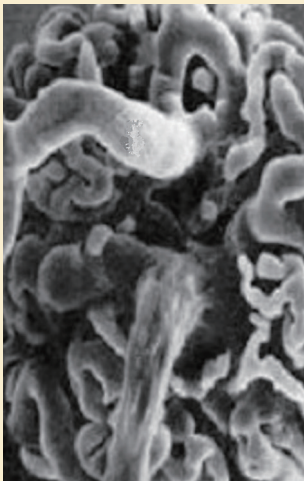
高かった血糖値も下がって薬も不要になったと喜ぶと高木さん。仕事にも復帰し、忙しく社内を走り回る日々を送っている

0年の7月から。サプリメントで痛い目にあっていた私は、この酵素の効果も半信半疑でした。  
ところが、夜眠れないほどの足のだるさやムズムズ感、むくみなどが日ごとに軽減。よく眠れて、すっきり目覚めることができようになりました。尿量も増えて、倦怠感も消えたのです。

飲用4カ月後には、13

・4もあつたクレアチニン値は10・8に低下。尿酸値は128から55、尿酸値は10・4から5・5に改善しました。  
今後、これ以上腎機能が落ち込まないように、経過観察中の左目の硝子体出血もよくなるのを期待して、「わかなつみの発酵菌」を飲み続けようと思えます。

### 老化した糸球体



### 毒のない血液が糸球体を守る！

腎機能を維持するには、糸球体の数を減らさないことが重要。血液が汚れ、血管が損傷すると、糸球体が減ってしまう

人工透析の体への負担は少なくなく、血流や水分代謝の滞りによる倦怠感や神経障害、むくみ、尿量の減少といった不調が起こりやすくなります。さらに透析でろ過しきれなかった老廃物(毒)が蓄積。その結果、動脈硬化などが著しく促進される。

「わかなつみの発酵菌」は、血流改善を促す作用にも長け、透析で起こりがちな不調の軽減を助けます。また、血液を徹底的に浄化する作用は透析の負担をやわらげ、老廃物の蓄積予防につながる可能性も期待できるでしょう。

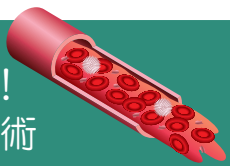


医学博士・武内先生のコメント

### 透析時に生じる不調も改善

血流悪化や尿量の減少を緩和する

れ、平均余命が短くなる要因となりかねないので、す。



毒出し!!  
血液浄化術

# 約10年間に及ぶ人工透析。下がる一方だった腎機能が上向きに!! 尿量も増えて体調にもよい変化が!

「わかなつみの発酵菌」・腎臓病改善体験談③

大阪府在住 真田聖二さん(55歳)

## IgA腎症で人工透析を導入

私の父は、腎臓病で長年人工透析を受けていました。また、伯父である父の兄も腎臓病患者。ですから“遺伝的に腎臓が弱い”ということは、自覚しているつもりでした。とはいえ、11年ほど前に会社の健診で「IgA腎症」であることがわかったときには少なからぬショックを受けました。

IgA腎症は、腎臓の糸球体が炎症を起こし、腎機能に障害が起こる慢性腎臓病（CKD）です。それまでの私は、まったく自覚症状もなく、元気にいっぱいに過ごしていたので、自分の腎臓は大丈夫かと思っていました。しかし、やはり遺伝は避けられなかったのです。当時、腎機能の状態を示すクレアチニン値は1・2mg/dl。放置すれば下がるだけとのこと、

薬を服用する期間と服用しない期間を周期的に繰り返すパルス治療を受けました。治療に励んでもの、効果はなし。クレアチニン値はアツという間に上昇し、1年足らずで5・0に。それを機に人工透析が始まりました。

## 「わかなつみの発酵菌」で腎機能が上向きに

私が「わかなつみの発酵菌」を知ったのは上司からの紹介。それほど効

果を期待していたわけではなく、「効いたらいいな」程度の軽い気持ちでした。しかし、その期待はよい意味で裏切られたのです。

透析を受けた日の夜は、体はクタクタに疲れているのに眠れないというところがよくありました。ところが「わかなつみの発酵菌」を飲み始めてからは、不眠がピタリ解消。ぐっすり眠れ、朝もすっきり目覚められるのです。

### 真田さんの改善データ

#### クレアチニン値

15.2 → 13.2 mg/dl

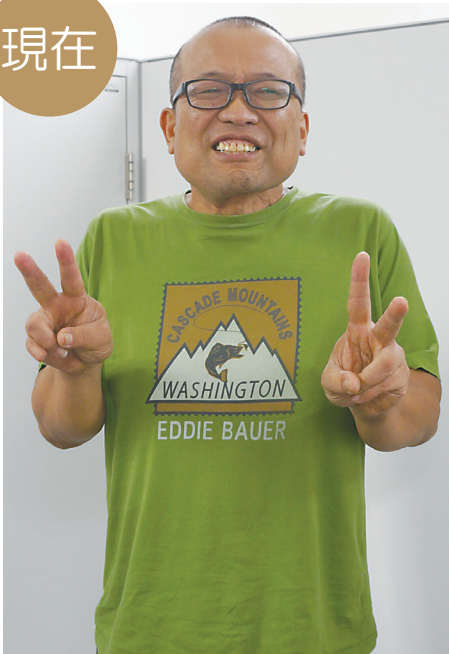
#### 尿量

コップ1杯以下 → 3杯

●基準値：クレアチニン値0.6～1.1mg/dl（男性）、尿素窒素8～21mg/dl

※個人の感想であり、実感を保証するものではありません。

現在



「遺伝だからしょうがない」とあきらめていた腎機能の低下が、「わかなつみの発酵菌」で改善！透析による数々の不調もおさまった

上がる一方だったクレアチニン値は15・2から13・5に。尿素窒素は89から67に下がったのは、飲用を始めてから3カ月後のこと。同時に、尿量にもよい変化が見られました。一般的に透析患者は尿量が少なくなり、私の場合も、1日の尿量はわずかコップ1杯ぐらい。2日間、まったく排尿がないこともありまして。

た。でも、今では1日にコップ3杯もの尿が出るのです。

先日の検査では、クレアチニン値がさらに下がって13・2になっていました！体が疲れにくく体力が増したのも、「わかなつみの発酵菌」の効果でしょう。腎機能が着実に向上になって、「わかなつみの発酵菌」の効果を実感しています。



医学博士・武内先生のコメント  
腎臓の機能を両面から助ける



血液をろ過して尿をつくる

極小血管が糸のようからまった糸球体とボーマン嚢。その働きは、体内をめぐった血液をろ過し、不要物を排出するために原尿をつくること

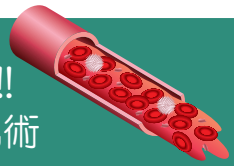
体内をめぐった血液は、糸球体の極小血管を経てボーマン嚢（のう）へろ過され「尿のもと」である原尿となります。人工透析の患者さんは、腎機能を失っている（糸球体数が減少している）ので、尿量が少なくなりがち傾向を持ちます。

真田さんが尿量増加に

転じたのは、現存している糸球体の機能が「わかなつみの発酵菌」によって向上したためでしょう。また、ろ過前の血液が浄化され、糸球体の負担が軽減されたためでもあると考えられます。

事実、クレアチニン値の改善が腎機能の着実な向上を裏付けています。

毒出し!!  
血液浄化術



# クレアチニン値が4・2↓2・6に 大降下! 透析寸前の糖尿病腎症が 改善し、糖尿病の諸症状も解消!!

「わかなつみの発酵菌」・腎臓病改善体験談④

栃県在住 内藤哲夫さん(70歳)

「わかなつみの発酵菌」  
で腎機能が回復!

なかなか解消しない疲労感や甘ったるい尿臭、夜のひん尿…。「なんか変だな」と、病院へ行ったときには、すでに糖尿病で合併症まで起こしている状態でした。

医師によると、腎臓の血管が糖で汚れた血液で障害を受け、糖尿病性腎症になっているとのこと。さらに「人工透析を受け

るための心がまえ」までもが告げられました。私の腎臓の機能を示すクレアチニン値は4・2もあり、すでに人工透析開始寸前だったのです。

人工透析だけはまっぴらごめん。どうにか免れたかった私は、友人から教えてもらった「わかなつみの発酵菌」を頼ることにしたのです。

悪かった朝の目覚めが改善したのを筆頭に、ひん尿や尿臭、だるさや疲

れなどがごとごとく解消されていきました。

飲用1カ月後の検査では、クレアチニン値が2



医学博士・武内先生のコメント

**腎機能の回復は不可能でない**  
低下した腎機能を回復するポイント

血液を浄化する、血管の若さを取り戻す、質のよい血液をつくる、といったことを実現するのが、

通常ではむずかしいとき、**「わかなつみの発酵菌」**はこれらの実現する稀有な酵素なのです。

内藤さんの毒出し効果

クレアチニン値

4.2 → 2.6 mg/dL

(基準値は男性1.2mg/dL以下)  
疲労感やだるさが消え、目覚めもよくなった

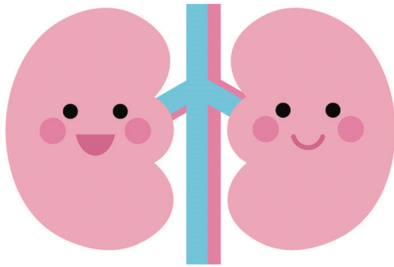
●基準値：クレアチニン値0.6～1.1mg/dL (男性)、血糖値110mg/dL未満

※個人の感想であり、実感を保証するものではありません。

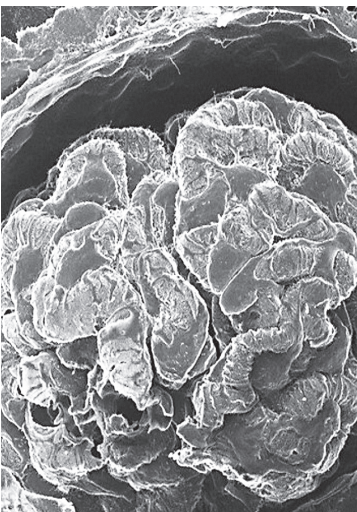
## 「わかなつみの発酵菌」COLUMN

# なぜ「わかなつみの発酵菌」が腎機能を改善するのか？その理由を医師が分析!!

医療法人大樹会理事長・医学博士 武内徹郎



### 腎臓内の糸球体



極小の血管が糸のようになり、「ザルの目」の役割をして血液をろ過する糸球体。なお、1つの腎臓には約100万個、左右の腎臓で200万個の糸球体がある

**多様な作用が相乗し、腎機能の回復へ導く**

腎機能の低下や慢性腎病の発症は、糸球体の損傷・減少で生じます。直接的には、糸球体の血管が動脈硬化を起こすことが原因だとされています。「わかなつみの発酵菌」は、他の酵素とは一線を画す優れた血液浄化力を持つことで知られています。飲用わずか30分で、汚れた血液をサラサラの

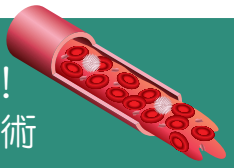
きれいな状態に改善。血液はもとより、血管の若返りを促し、腎機能の回復を支えます。

さらに、天然の成分である「わかなつみの発酵菌」には、コレステロールを溶解してできてしまった血栓を溶かすといった働きを持ちます。血栓を防ぐことは、動脈硬化の改善を強力に押し進めます。また、血液の質は腎臓の健康を左右します。「わ

かなつみの発酵菌」は、腸内環境を整える働きで、良質な血液づくりに貢献。糸球体の負担を軽減し、クレアチニン値の改善をサポートすることが医学論文誌『アジア補完代替医療学術誌』にて発表されています。

加えて、「わかなつみの発酵菌」は、血液を流れやすい状態に改善し、末梢血管や極小血管にまで血液が行き渡るのを助けます。腎臓の極小血管へ十分な血液を届け、その働きを促します。こうした「わかなつみの発酵菌」ならではの多様な働きが、複合的に相乗。腎機能の有為な改善に貢献するのです。

毒出し!!  
血液浄化術



# 腎臓病、糖尿病や脳梗塞・心筋梗塞 などを根因から絶つには、“生きた” 酵素での血液浄化が有効!!

「わかなつみの発酵菌」・医師解説①

医療法人大樹会理事長・医学博士 武内徹郎

## 血液浄化が真の 改善をもたらす

糖尿病や高血圧、脂質異常症などの疾患がある場合、数値の改善が第一目標になります。しかし、

「数値が下がれば安心」というわけではありません。疾患をきちんと治すには、血液の毒を浄化することを決して忘れてはならないのです。糖尿病患者さんの平均

寿命は健康な人よりも、10年も短いのだとか。また、国立がん研究所は、血糖値が高い人はがんになるリスクも高いと発表しています。これらはすべて、過剰な糖で血液がドロドロに汚れるせいで生じるのです。

さらに、血液の汚れは万病を起こす根因になります。血管や細胞、臓器への酸素や栄養素の供給不足を引き起こし、正常な働きを阻害。すると、

アレルギーや免疫トラブル、臓器の機能低下など、多様な病気が起こりやすくなってしまう。したがって、疾患を根因から改善するには、血液の徹底的な浄化が必須。そして、もっとも有効な手段となるのが“生きた”酵素の活用なのです。

## 死んだ酵素では 効果は得られない!

酵素は天然の成分で、毒となる過剰な糖や脂肪、老廃物や不要物を分解・排出する働きを持っています。体には“体内酵素”という生きた酵素が存在しますが、その量は年々減少。そのため、外部からの積極的な摂取がす

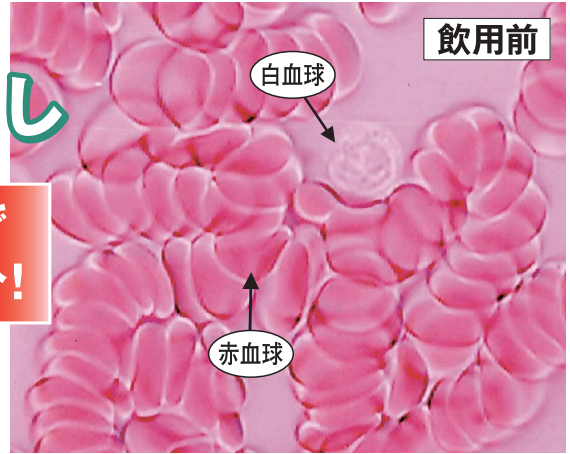
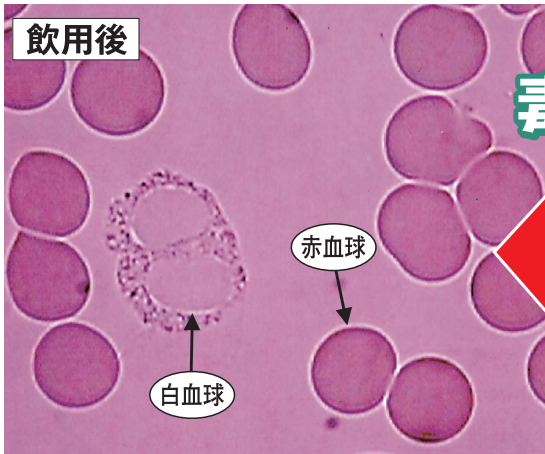
## 毒で汚れた血液が 多様な疾患の根因

過剰な糖や脂肪、老廃物や不要物などの“毒”で汚れた血液が、万病を起こす!!  
腎臓病・糖尿病・脳梗塞・心筋梗塞・高血圧・脂質異常・動脈硬化・肝臓病・心臓病・アトピー・リウマチ・ぜんそく・免疫不全・認知症・冷え・老化促進・慢性疲労・便秘 など



# 「わかなつみの発酵菌」のすごい作用

## ／わずか30分で血液はサラサラに！／



**毒出し**

**飲んで  
30分!**

### キレイでサラサラになった血液

毒出しされた血液の赤血球は丸く、連結のないサラサラ状態で、酸素・栄養素を全身の細胞にスムーズに運搬。白血球は大きく活性化し、免疫力も向上。

### 毒で汚れたドロドロ血液

糖や脂肪、コレステロールなどの毒で汚れた血液は、赤血球が連結してドロドロ状態。様々な疾病や生命を脅かす脳梗塞、心筋梗塞の引き金となる。

められています。

なお、酵素は50℃前後の熱で活性力が落ち、浄化力を消失してしまいます。世の中にはさまざまに酵素がありますが、その酵素はちゃんと生きているでしょうか？

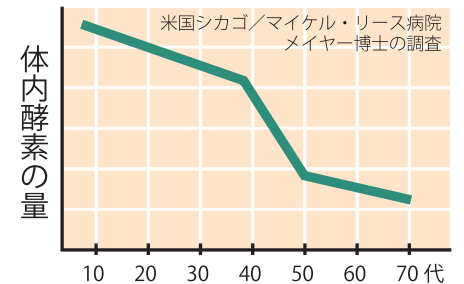
食品衛生法で高温の加

熱処理が義務づけられたエキスやドリンクタイプの酵素、また、高温でプレスされる錠剤タイプなどの酵素…。これらは熱で酵素が死んでしまっています。すなわち、強力な生きた酵素の働きを得ることはできないのです。

**「わかなつみの発酵菌」が血液を徹底浄化！**

私が推奨する「わかな

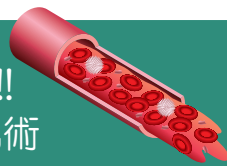
### ●老化と体内酵素の量



40歳を過ぎると、体内酵素の量と活性力は低下していく

「わかなつみの発酵菌」は、特許取得の熱を一切加えない製法でつくられた酵素。他の酵素とは段違いの血液浄化力を持ち、飲用わずか30分でドロドロ血液をサラサラに改善します。

この生きた酵素の活用で、腎臓病、糖尿病や脳梗塞・心筋梗塞などの疾患を克服された方が大勢いるという真実が、効果の動かぬ証拠です。



毒出し!!  
血液浄化術

# 抜群の酵素活性力が優れた毒出し作用の源! 「わかなたつみの発酵菌」が糖尿病、腎臓病、脳梗塞を快癒へ

「わかなたつみの発酵菌」・医師解説②

医療法人大樹会理事長・医学博士 武内徹郎

数10倍も差がある  
生きた酵素の実力

「わかなたつみの発酵菌」は大学等の第三者機関で、酵素活性力などの実

験・研究を行い、結果を広く公表しています。他の酵素との違いは一目瞭然。極めて高い酵素活性力を持つため、優れた血液浄化作用を発揮します。

ちなみに、酵素は洗剤の成分としてもよく知られています。油污れや食べこぼし、泥汚れなどがすつきり落ちるのは、酵素がそれらを分解・除去するから。血液の毒が浄化されるのも、洗剤と原理は同じです。過剰な糖や脂肪、老廃物や化学物質といった毒を生きた酵素が分解・除去してくれるのです。なお、酵素活性力が低ければ、分解・除去力も弱くなり、高い

**「わかなたつみの発酵菌」は食物の消化・分解力が桁違い!**

**酵素活性比較**

(鈴鹿医療科学大学分析)

	非加熱処理わかなたつみの発酵菌	錠剤系	ハードカプセル系	液体系
■ アミラーゼ活性	1180	106	6	0
■ プロテアーゼ活性	4300	98	117	0
■ リパーゼ活性	390	20	0	0

※錠剤系との比較

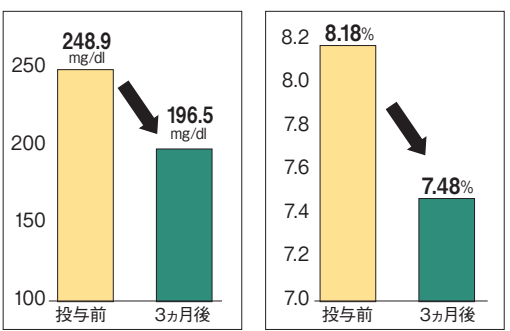
- アミラーゼ……炭水化物の消化・分解作用
- プロテアーゼ……タンパク質の消化・分解作用
- リパーゼ……脂質の消化・分解作用

● **非加熱だから高パワー**

熱を一切加えずにつくられた「わかなたつみの発酵菌」は、他の酵素と段違いのずば抜けて高い活性力(血液浄化力)を持つ

除去力も弱くなり、高い

## ヒト臨床試験 抗糖尿病作用データ



(出典元: 東方医学 第29巻より)

浄化力は得られないことを覚えておきましょう。  
「わかなたつみの発酵菌」で健康な血液になる!  
汚れた不純物まみれのガソリンでは車がきちんと動かきません。同様に、過剰な糖や脂肪、老廃物だらけの血液では、体も正常に機能できなくなっています。

## 「わかなつみの発酵菌」はココが違う

	わかなつみの発酵菌	他の酵素
客観性	第三者である大学等の専門機関で、成分や作用を分析、広く公表	ほとんどの酵素は、活性力等の詳しい分析結果を公表していない
評価	医師や研究者の実験や臨床試験の結果を論文として学術誌に発表	医師や研究者の実験や臨床試験が行われている酵素は極めてまれ
製法	国内外で特許を取得した技術で熱を一切加えずに生きた酵素を製造	殺菌やプレスで50℃前後の熱が加えられており酵素が生きていない
浄化力	生きた酵素だけが持つ高い酵素力で、飲用30分で血液を浄化	生きていない酵素は活性力が低く、血液を浄化する作用は望めない
働き	腎臓病や糖尿病、がんなどの疾患への有益な作用を確認済み	有効作用がしっかり確認されていない酵素がほとんど

血管が傷ついて弱るほか、血栓ができて詰まったり、破れやすくなります。血流が滞って細胞へ栄養や酸素が充分に供給されず、臓器の働きが落ち込みます。血液の質も劣化し、免疫

力の低下まで招くのです。「わかなつみの発酵菌」を摂取すれば、熱を加えていない酵素ならではの高い活性力で毒まみれの血液を素早く浄化。血液中のコレステロールを溶かすなどの作用で、血管

の若返りを強く促します。また、細胞を健やかにして各臓器の正常な働きをバックアップ。加えて、「わかなつみの発酵菌」が持つ腸内環境を整える作用と高い浄化力が相乗。血液の質がグッと上がるため、免疫力の向上も望めます。

となれば、糖尿病や腎臓病、脳梗塞・心筋梗塞などの多様な疾患がスムーズに予防・改善されるのは当然といえます。

### 抗糖尿病作用を臨床試験で証明

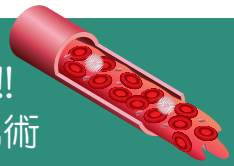
私も参加した「わかなつみの発酵菌」のヒト臨床試験ではヘモグロビンA<sub>1c</sub>や血糖値の低下などの

抗糖尿病作用が認められました。試験結果は論文として医学専門誌にも発表。血液中の過剰な糖をスムーズに分解・除去する作用に優れた「わかなつみの発酵菌」だからこの結果だと断言できます。

「わかなつみの発酵菌」の愛飲者からは腎臓病や糖尿病、脳梗塞・心筋酵素の改善といった喜びの声が多数届いているそうです。

慢性疾患と縁を切りたい、難病を克服したいと思うなら、毒出し力に優れた「わかなつみの発酵菌」で、ぜひ徹底的な血液浄化に励んでみてください。

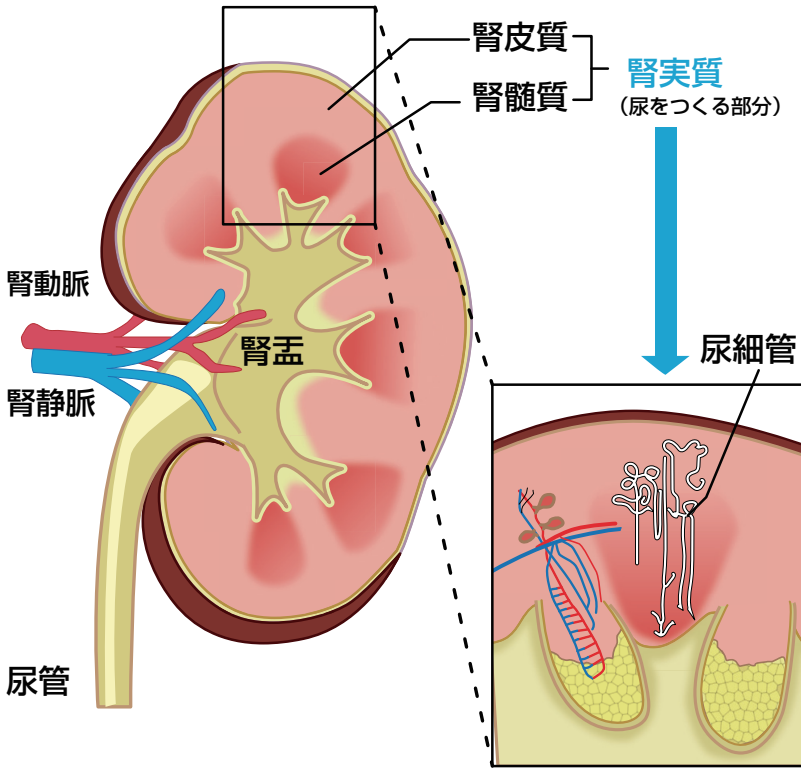
毒出し!!  
血液浄化術



# 血液中の毒で生じる血管の損傷が、 腎機能を低下させる真の原因!! 徹底的な血液浄化が改善の助けに

腎機能低下と血液浄化

医療法人大樹会理事長・医学博士 武内徹郎

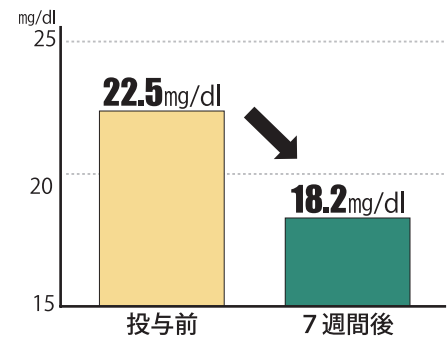


## 慢性腎臓病は 血液の汚れが原因!

腎臓の機能が低下すると正常な働きが徐々に失われ、慢性腎臓病（CKD）に至ります。そして、慢性腎臓病が進行すると腎不全となり、人工透析や腎移植が必須となります。慢性腎臓病には、糖尿病性の腎症、高血圧性腎臓病ともいわれる腎硬化症、糸球体の炎症で生じるIgA腎症などがあり、

これらはすべて血液の汚れが関係しています。糖尿病性の腎症は、過剰な糖が腎臓の血管を損傷することで起こります。脂肪や老廃物まみれの血液は流れが悪く、高血圧を起こした結果、腎硬化症を招きます。また、毒まみれの質の悪い血液は、糸球体の炎症の大きな原因になってしまいます。

## 腎機能改善 クレアチニン値低下



(出典:アジア補完代替医療学術誌第8巻第1号)

## 腎機能を回復する 「わかなつみの発酵菌」

ですから、慢性腎臓病の予防や改善には“血液の状態の見直し”が欠かせません。具体的には以下の6つのポイントを心がけてください。

まず、1つめは質のよ

い血液をつくること。質の悪い血液は腎臓に過度な負担を与えかねません。そのためには、腸内環境を改善してよい血液をつくることが秘訣です。2つめは血流を良好に保つこと。そのためには3つめである徹底的な血液浄化が必須となります。4

つめ、5つめは血管の老化と血栓の防止。6つめは動脈硬化の予防・改善。なお、動脈硬化にならないためには、血液浄化に励むことが有効です。

これら6つを実現するのが「わかなつみの発酵菌」。桁外れの血液浄化力や血管若返り作用、腸内環境を整えて質のよい血液づくりを行う働きなどによって、腎機能の回復に大きく貢献します。

### 実験で腎機能回復の効果を確認

「いったん失われた腎機能の回復は極めて困難」というのが定説です。しかし、徹底的な血液浄化や着実な血管の若返りな

どを行うことで、腎機能の回復は実現します。

事実、「わかなつみの発酵菌」は、マウスへの投与実験にてクレアチニン値の有意な低下が認められています。これらは血液浄化で糸球体の機能を回復するとともに腸内環境を改善する作用が血液の質を高め、腎臓の負担を軽減することなどで得られたものとされています。

「わかなつみの発酵菌」で、一度はあきらめた腎機能の回復がなかった愛飲者さんが多数います。腎機能に不安を持つ方は、ぜひ一度、試してみたいかがででしょうか？

### 腎機能の回復を助ける

## 6つのポイントをチェック!!

- 1. 質のよい血液をつくる……□
- 2. 血流を良好に保つ……□
- 3. 血液の毒を浄化する……□
- 4. 血管の若返りを促す……□
- 5. 血栓をつくらせない……□
- 6. 動脈硬化を予防・改善……□



今日から始めましょう

# 4つの実践法

次の4つを心がければ、肥満や糖尿病、腎臓病、高血圧などの生活習慣病や脳梗塞、心筋梗塞などの予防・改善が期待できます。



## 1 バランスのよい食事

野菜をたっぷり、肉や脂肪分ばかりの食事は避けて。添加物が多い加工食品などにも注意しましょう。食事メニューは、日本伝統の和の食事を考えましょう。

## 2 適度な運動

毎日ちょっとでもよいので、身体を動かす習慣を身につけて。まずは歩くことから始めてみましょう(1日1万歩目安)。

## 3 ストレスを溜めない&休息

ストレスを溜めないようにするとともに、きちんと睡眠時間をとって身体を休ませましょう。

## 4 「わかなつみの発酵菌」を摂る

血液の毒出し力に優れた、生きた酵素を積極的に摂って、サラサラできれいな血液を保ちましょう。毎日新鮮な酵素を食品から摂ることが難しい場合は、サプリメントを活用しましょう。

取材・協力／(株)ヴァリダックス ☎052-745-2911 <http://www.validux.co.jp>

発行・監修

医食同源研究会

Copyright 2020, All Right Reserved